

令和 6 年度
都留市文化財審議会
(第 2 回会議)
資料 2

「市内天然記念物の
現地調査について」

名称	所在地	所有者/管理者	所見
真福寺の大力ヤ	小野627	真福寺	R5年度山梨県文化財保存事業において、ロープによる樹幹の引き締め、枝剪定を行い、現状維持。
上大幡のナシ	大幡4229	個人	所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。
阿夫利神社の彼岸桜	玉川570	阿夫利神社	<u>R5の枝折れ箇所は防腐処理ができていない。</u> アンケート調査における所有者の文化財への認識が課題。
上大幡の八房の梅	大幡4229	個人	所有者へのヒアリングを実施。樹勢等影響なし。
桂林寺の彼岸桜	金井397	桂林寺	<u>樹幹中央が空洞上になっており、樹皮が落下している状態。</u> 今後所有者とのヒアリングなどを行い、補助の検討などが必要。
菅野のカツラの木	大野地内	菅野自治会	R5日本樹木医会山梨支部による現地調査実施。樹木に問題なし。
熊野神社の大杉	鹿留2346-9	熊野神社	神社入り口に電気柵が設置され中に入ることができない。 （アンケート調査では問題なし）
稲村神社のエノキ	小形山1565	稲村神社	樹木の周囲に囲いをして保全している。幹の先端部分が折れているがそのままの状態。
今宮神社のケヤキ	鹿留2590	今宮神社	<u>成長により根が神社石垣を押し出している。</u>
八王子神社のイチョウ	古川渡891	八王子神社	<u>R5の枝折れ箇所の防腐処理などは実施できていない。</u>
上夏狩のヤブツバキ	夏狩1792	個人	所有者へのヒアリング実施。 <u>伐採後、一時は新芽等が確認できたが再び枯れている。枯れ死の状態かは判断できない（目視では枯れている様子）。</u>
栃苗代のヤマツツジ	大野2116	個人	現地にて所有者にヒアリング。周辺のメタセコイヤの繁茂により、日当たりが悪いため、昔ほど樹木の勢いがいい。

桂林寺の彼岸桜



樹幹中央が空洞
上になっており、
樹皮が落下して
いる状態。今後
所有者とのヒア
リングなどを行
い、補助の検討
などが必要。



阿夫利神社の彼岸桜



R5の枝折れ箇所は
防腐処理ができて
いない。アンケー
ト調査における所
有者の文化財への
認識が課題。

八王子神社のイチョウ



R5の枝折れ箇所
の防腐処理など
は実施できてい
ない。



成長により根が
神社石垣を押し
出している。



R5の枝折れ箇所の
防腐処理などは実
施できていない。
所有者へのヒアリ
ング実施。伐採後、
一時は新芽等が確
認できたが再び枯
れている。枯れ死
の状態かは判断で
きない。

令和6年7月31日(水)に行われた、令和6年度都留市文化財審議会第1回会議にて、都留市内指定天然記念物現地調査結果の報告が行われた。文化財所有者のアンケート調査と現地調査結果を踏まえ、複数の都留市指定天然記念物に問題が発生していることが分かった。

そのため文化財審議委員の樹木医である大澤氏に依頼の上、令和6年10月18日(金)に市内にある天然記念物の調査を再度実施した。

◆ 調査実施天然記念物一覧

番号	名称	所在地	所有者/管理者
①	上夏狩のヤブツバキ	夏狩1792	個人
②	今宮神社のケヤキ	鹿留2590	今宮神社
③	桂林寺の彼岸桜	金井397	桂林寺
④	八王子神社のイチヨウ	古川渡891	八王子神社
⑤	阿夫利神社の彼岸桜	玉川570	阿夫利神社

①上夏狩のヤブツバキ



◆現地調査【令和6年10月18日】状況

- ①外皮と木材の間が開いており、剥がれ落ちている箇所も確認されている。
- ②コフキタケが発生している。
- ③コフキタケの影響で腐っている。
- ④シロアリの被害がみられる。

◆大澤委員の所見

- ・ 外皮と木材の間に本来なら確認できる緑色の層が確認できない。
- ・ 外皮が大きくはがれてしまっている部分があり、幹の中央部が腐っている。
- ・ シロアリやコフキタケの被害を強く受けており、枯死という判断で問題ない。

◆今後の対応

- ・ 天然記念物の指定解除

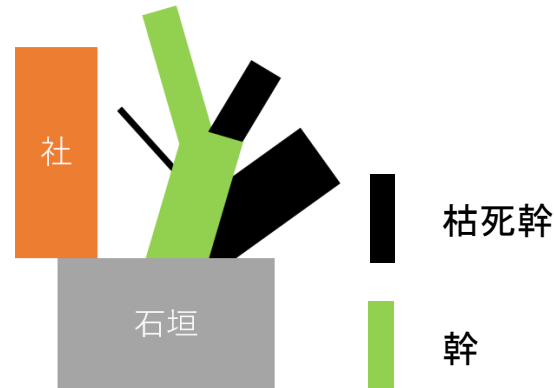
②今宮神社のケヤキ



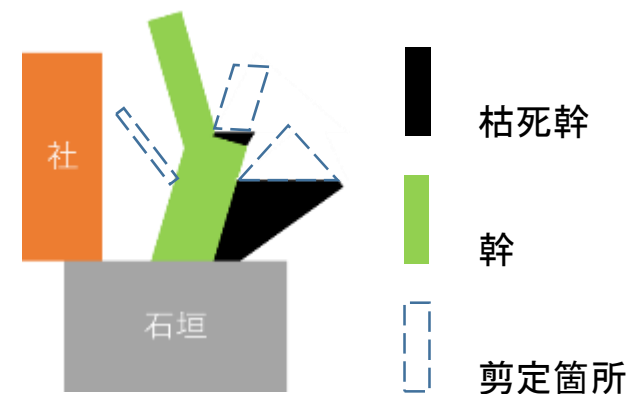
②

①

ケヤキ簡易図



ケヤキ簡易剪定図



◆現地調査【令和6年10月18日】状況

- ①ケヤキの根が石垣を押ししまっている。
- ②雨により表皮の剥がれが拡大している。

- ◆社側の細い枯死幹は完全に切り落とす。
- ◆道路側の太い枯死幹2本は分岐点から地面と平行に切り落とす。
- ◆そうすることで木全体の太さを変えずに枯死した部分を切除できる。

◆大澤委員の所見

- ・大きく二股に分かれている幹の道路側のほうは枯死している。
- ・社側の幹の上部にも枯死している幹が確認できる。
- ・ケヤキ双幹の枯れた太幹はまだ強度があるためすぐに倒れることはないだろうが、いずれは倒れるので、そうなる前に除去した方が良い。
- ・さらに上部の枯れた太枝と社側に伸びた枯れ枝を除去する。

◆今後の対応

- ・今宮神社を管理する三名の氏子総代にて剪定等の処置を行うかの協議を実施する。
- ・今年度実施予定の県道の拡張工事に合わせ、可能であれば剪定を行う。(県道拡張工事によって敷地内の別のケヤキが伐採予定のため、その伐採に合わせて剪定を行う。) ⇒令和7年度市補助金予算計上予定



①



②



③

◆現地調査【令和6年10月18日】状況

- ①幹が二つに分かれてしまっており、中央部が空洞上になっている。
- ②樹木西側に墓地で発生したごみが散乱しており、灰皿も設置されている。
- ③西側に新しい幹が育っている。

◆大澤委員の所見

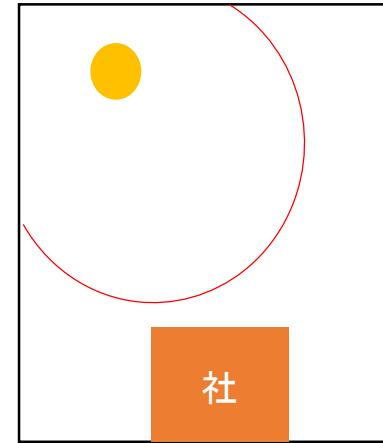
- ・ 幹が二つに分かれてはいるが樹勢は良いため現状維持が望ましい。
- ・ 中央部の腐り落ちた部分をそのままにしておくことで新しい根が生えてくる。
- ・ 今後樹勢が弱まった場合はケーブリング処置を行う。
- ・ 樹木西側のごみなどが彼岸桜に悪影響を与える可能性は非常に高いので、早急に対処が必要である。

◆今後の対応

- ・ 樹木に関しては処置などは必要ない。周辺環境の整備を進めていく。(視察後に管理者にごみの撤去等に関して伝達している。)

④八王子神社のイチヨウ

枝折れ対策簡易図



— ロープ
● イチヨウ



①



②

◆ 現地調査【令和6年10月18日】状況

- ①大きな枝が折れて落ちている。
- ②折れた枝がほかの枝に引っかかっている。

◆ 大澤委員の所見

- ・ 枝が折れたのは、銀杏が生りすぎて重さに枝が耐えられなくなったからと考えられる。
- ・ まだ成長して大きくなるため剪定をして、木のバランスをとったほうが良い。
- ・ 剪定時に届きやすい木の下の方の枝を切りすぎてしまうと、重心が崩れ、風に弱くなってしまうため注意して剪定を行う。

◆ 今後の対応

- ・ 安全面を考慮し、樹木の下に囲いを設置して人が入れないようにする。
- ・ 管理者に通知を行い、木の剪定や今後の対応について確認する。

⑤阿夫利神社の彼岸桜



①



②

③



◆ 現地調査【令和 6 年10月18日】状況

- ①令和5年度の雪害によって折れてしまった枝
- ②彼岸桜に蔓が巻き付いている。
- ③自生しているケヤキ

◆ 大澤委員の所見

- ・ 枝が三か所折れている。
- ・ 周辺に草や笹が生えており、幹にも蔓が絡んでいる。
- ・ 幹の二股に分かれた部分からケヤキが自生している。

◆ 今後の対応

- ・ 折れている枝それぞれに支柱を設置し、これ以上枝折れが起こらないようにすべき。
- ・ 周辺の草・蔦・笹刈りを行う。
- ・ ケヤキの伐採を行う。



支柱例(上大幡のナシ)